市立貝塚病院広報誌
Kaizuka City Hospital
Vol. 05
2012 1月

コスモスだより

小児救急を守る

泉州医療圏　小児救急輪番制

病院の理念 基本方針

地域住民を守る良質な医療の提供

1．医療を通じ患者さんの歓びが自らの歓びになるような職業人をめざします。
2．常に技術の研鑽に努め、高度な医療の提供により、病気の早期発見・治療の充実をめざします。
3．患者さんの治療には、各々の職務を結集したチーム医療をめざします。
4．地域の医療機関と連携を密にし、信頼される中核病院として急性期医療をめざします。

発行：市立貝塚病院 広報委員会

泉州医療圏　小児救急輪番制

小児救急を守る

泉州地区では、7つの病院の小児科が輪番制で時間外救急診療を担当し、いずれかの病院で365日いつでも小児救急診療が行える体制をとっています。
今回は、この輪番制と共に当院小児科のご紹介をさせていただきます。

■ 泉州地域の小児救急医療体制

泉州医療圏　小児救急輪番制

小児科医不足の中、365日空白無く救急診療を提供するために。

泉州地区の小児救急輪番制は 平成８年からから始まりました。和泉、泉大津、岸和田、貝塚の各市立病院と泉佐野市のりんくう総合医療センター、阪南市民病院と岸和田徳洲会病院の他、泉州北部小児初期救急広域センターと協力し、いづれかの施設で365日小児科診療が行える体制をとっています。

かかりつけ以外の病院を受診、あるいは入院しなければならないこともありますが、市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

【泉州医療圏の輪番制による小児救急診療スケジュール】

曜日	担当病院	連絡先	診療時間
月	岸和田徳洲会病院	072-445-9915	18:30 ～翌 7:00 ／祝祭日 23:00 ～翌 6:00
火	和泉市立病院	0725-41-1331	17:15 ～翌 6:00 ／祝祭日 23:00 ～翌 6:00
水	泉大津市立病院	0725-32-5622	19:00 ～翌 6:00 ／祝祭日 23:00 ～翌 6:00
木	市立岸和田市民病院	072-445-1000	17:00 ～翌 6:00 ／祝祭日 23:00 ～翌 6:00
金	**市立貝塚病院**	**072-422-5865**	**17:30 ～翌 5:30 ／祝祭日 23:00 ～翌 6:00**
土	阪南市民病院	072-471-3321	23:00 ～翌 6:00（第 5 週）
	岸和田徳洲会病院	072-445-9915	11:30 ～ 17:00
	泉大津市立病院	0725-32-5622	23:00 ～翌 6:00（第 1.3 週）
	和泉市立病院	0725-41-1331	23:00 ～翌 6:00（第 2.4.5 週）
日	りんくう総合医療センター	072-469-3111	23:00 ～翌 6:00（第 2.4 週）
	市立岸和田市民病院	072-445-1000	23:00 ～翌 6:00（第 1.3.5 週）

※平成23年12月現在。変更になる場合があります。

ご存知ですか？　初期救急・二次救急・三次救急医療。

初期救急
帰宅可能な患者への対応

二次救急
入院が必要な患者への対応

三次救急
特に高度な処置が必要、または重篤な患者への対応

患者様の重症度により、救急診療施設には一次（初期）～三次までの区別がされています。これは、施設の特性に合わせて患者様を振り分けることで、一部施設への救急患者の集中を避け、緊急の処置を必要とする方に、適切な施設で、迅速で的確な対応が行なえるようにするためです。

●泉州北部小児初期救急広域センター（土日・祝祭日・年末年始）・輪番病院など

●輪番病院など（初期救急からの受け入れもあり）

●輪番病院・大阪府立泉州救命救急センターなど

泉州地域の小児科の受診患者数は、毎年増加しています。特に輪番病院（二次救急）の準夜間への軽症患者の集中などが起こり、輪番制の維持に支障が発生していました。そこで平成18年から設置されたのが、岸和田市の『泉州北部小児初期救急広域センター』です。

●泉州北部小児初期救急広域センター
岸和田市荒木町１丁目１番51号（岸和田メディカルセンター内）電話／ 072-443-5940
【地域】 高石市・和泉市・泉大津市・岸和田市・貝塚市・忠岡町　　【対象】15歳未満の方（中学生まで）
【診療時間】（土曜日）17:00 ～ 22:00　（日曜日／祝祭日／年末年始）9:00 ～ 22:00

しかし、平日や深夜については『泉州北部小児初期救急広域センター』の診療が無く、初期救急医療体制が不十分なため、二次救急の施設に軽症患者も集中してしまうのが現状です。そのため、本当に緊急を要する小児患者を受け入れることができなくなるなどの影響が懸念されています。

準夜間・夜間の適切な受診をよろしくお願いいたします。

小児救急電話相談

夜間の子供の急病時、病院へ行ったほうが良いかどうか判断に迷ったら！

大阪府では、小児科医の支援体制のもと、看護師・保健師が365日相談に応じています。
【電話番号】 ＃ 8000　または　06-6765-3650　※市外局番が0736、0743、075、ダイヤル回線、IP電話の方
【相談時間】 20:00 ～翌朝８:00

■ 小児科のご紹介

当院小児科の特徴

赤ちゃんから15歳までの、内科疾患全般の広い領域に渡り総合診療を行っています。
近畿大学小児科のご協力のもと、専門分野の特別外来を開設。

診療内容

- 一般外来
- 予防接種外来（要予約）
- １ヶ月健診（りんくう総合医療センターで出生された赤ちゃん）
- 慢性疾患外来（要予約）　気管支喘息やアトピー性皮膚炎などのアレルギー疾患、低身長や甲状腺疾患などの内分泌疾患の外来です。
- 腎疾患外来（要予約）　小児腎臓病で有名な近畿大学小児科 主任教授 竹村 司先生
- 循環器外来　小児循環器が専門の近畿大学小児科 教授 篠原 徹先生（ダウン症児の診療にも詳しい先生）
- アレルギー外来　小児アレルギーが専門の近畿大学小児科 助教 竹村 豊先生

近畿大学医学部との連携で、専門診療の受診と治療が可能に。

当院では、近畿大学医学部小児科のご協力で、各専門分野の外来を設置しています。手術などが必要な場合は近畿大学小児科で治療を行い、退院後は当院での治療・観察が可能。高度で専門的な治療が受けられます。

食物アレルギー

食べられる可能性を探る

従来の食物アレルギー患者様への対応は、除去する（食べない）ことが中心でした。しかし、一度アレルギーと診断されても、時間が経過すれば抗体ができて食べられるようになる場合があること、完全に除去するのではなく摂食可能な範囲で食べ続けることで、食べられる量が増える可能性があることなどが分かってきました。

●当院でも食物アレルギーの負荷検査を行っていますので、お問い合わせください。

《小児科受診時のお願い》

伝染性の病気が疑われる方は、小児科外来受付にご相談ください。
⇨発熱に伴う発疹・水疱のある方、麻疹・おたふく風邪・インフルエンザなどが疑われる方。

薬の処方内容が分かるものを持参してください。
⇨他院にて処方されている薬はもちろん、過去にトラブルがあった薬などは可能な限りお知らせください。

子供の様子・経過を説明できる方が同伴してください。
⇨同伴できない場合は、経過を書いたお手紙を沿えてください。

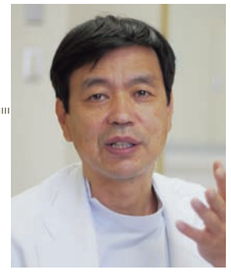
尿や便に異常があれば、持参してください。
⇨清潔な容器であれば何でも結構です。便はおむつをビニールに包んだ状態でも結構です。

特に小さなお子様は尿を持参してください。
⇨発熱等で尿検査をすることがあります。持参してくだされば、検査がスムーズに進み待ち時間も短くなります。

診察直前に食べないでください。 ⇨診察時にのどを刺激した場合に嘔吐するなど、支障をきたす場合があります。

■小児科 医師紹介

◆ 子供が元気に育ってくれることのありがたさ



診療局長兼小児科主任部長
井碩 孝博

私がこの貝塚病院で勤務して 20 年になります。小さい頃からずっと診てきて、もう立派に成人した子もいますが、そういう子達はいつまでたっても子供（笑）。親や親戚の感覚に近いのかもしれません。病気の子供が元気になって、あるいは病気を抱えながらも順調に育ち大きくなってくれることは、喜びであることはもちろん、本当にありがたいことだと思っています。子供は、社会の未来そのものですから。

皆さんもご存知の通り、小児科医不足が大きな話題となっています。特に課題となるのは、少ない小児科に救急患者が押し寄せること。『輪番制』も、「このまま単独で救急を行えば、どの病院も受け入れが出来なくなる」との危機感から、各病院小児科部長の話し合いで始まりました。医療側と親御さんが理解し合い協力し合いながら、子供が元気に育っていける社会であることを願っています。

小児科部長　田端 信忠

◆ 迅速な処置のため親御さんのご協力を

昨年４月から当院に勤務しています。専門はウイルス感染症や血液・免疫病の診療と研究ですが、いろいろな医療機関でプライマリケアから骨髄移植まで経験をしました。貝塚病院は、看護師さんもしっかりと子供の観察をしてくれていると思いますよ。小児科医として一番嬉しいのは、重篤だった子が元気になって「もう大丈夫、もう来なくていいよ」と言える瞬間。弱って辛そうにしている子供をみるのは私も辛いですから。残念ながら全ての子供を救えるわけではない・・・骨髄移植をしている時は、本当に辛かった。

お願いしたいのは、子供をしっかりと観察して、経過や状況をできるだけ整理して的確に伝えていただくこと。母子手帳なども持参していただくと助かる時があります。かく言う私自身、あまり話す事が得意ではないので（笑）ご迷惑をお掛けするかも知れませんが、よろしくお願い致します。

◆ 子供達の頑張りに誠実に向き合う

小児科副部長　池田 優

当院小児科の特徴は、あえて特徴を作らないことでしょうか。各医師が専門を持ちながらも全般的に診る。診療に穴の少ない『ちょうどいい小児科』だと思っています。治療も「これでないとダメ」と極端な理論ではなく、患者さんの状況に合わせて柔軟に対応する。それより、治療や投薬の反応・効果をしっかり確認する方が重要ですから。患者さんの数が非常に増加しているのも、こうした姿勢が受け入れられているからと自負しています。

医師として、時には子供が嫌がることや辛いこともしなければなりません。そんな時は「この子のため」と心を鬼にするしかない。それは親御さんも同じでしょう。どれだけ子供が嫌がっても、励ましよく頑張ったねとしっかりと褒めてあげてください。愛情を持って接している限り、子供達は分かってくれると思います。

これで撃退！　インフルエンザ

普通感冒（かぜ）とインフルエンザとの違い

普通感冒（かぜ）	項目	インフルエンザ
上気道症状（鼻粘膜・咽頭）	主な症状	急激な発熱を伴う全身症状
咳・くしゃみ・のどの痛み・鼻詰り・頭痛・発熱・全身倦怠感	症状	左記に加え、悪寒・重い全身倦怠感・腰痛・関節痛・筋肉痛など
緩徐	症状の進行	急激（潜伏期間１～２日）
37℃～	発熱	38 ～ 40℃
早期に軽快	臨床経過	症状の持続１～２週間
軽度	重症度	重症（肺炎や脳炎などをきたしやすい）
副鼻腔炎・気管支炎・肺炎・中耳炎・結膜炎・髄膜炎など	合併症	左記に加え、肝障害・熱性けいれん・脳炎・脳症・心筋炎・腎不全など
一年を通じて散発性	発生状況	季節性・12月下旬～３月上旬
ライノウイルス・アデノウイルス・コロナウイルスなど	病原体	インフルエンザウイルス

38℃以上の急な発熱 悪寒・強いだるさ に要注意！

早期診断・早期治療 発症 **48 時間以内** に抗インフルエンザ薬を服用！

15 歳以下 の子供 **65 歳以上** の高齢者は特に注意を！

インフルエンザの種類

大流行を起こす

	A 型	B 型	C 型
亜型	H 1～H16・N1～N9	なし	なし
宿主	ヒト・鳥類・ウマ・ブタ	ヒト	ヒト

A・B 型：毎年流行を起こす

C 型：症状は軽度か無症状

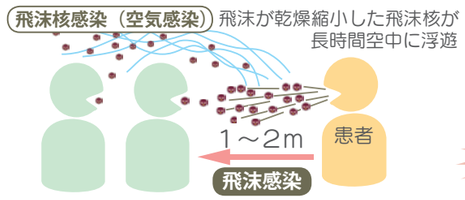
新型インフルエンザって？

ウイルスには、少しずつ構造を変化させる「変異」が起こっています。特にＡ型は10～40年に１度大きな変異を起こし、これまでとは異なる性質のウイルスになります。Ａ型は宿主が多いため、新しいウイルスが出来やすいのです。中でもヒトからヒトへ感染する能力を持ったものが、新型インフルエンザです。

ヒトにはまだ免疫がないため、感染力が強く世界的な流行（パンデミック）につながります。

インフルエンザの感染経路と予防

インフルエンザは、主に飛沫感染により感染。



咳やくしゃみなどの飛沫によって浮遊したウイルスが吸い込まれて感染。

【マスクの効果】
- 人にうつさない。
- ウイルスの侵入を防ぐ。
- ウイルスは湿度に弱いため、のどの中で広がりにくくする。

重症化や合併症を引き起こしやすい人

- 高齢者（65 歳以上）
- 慢性肺疾患（肺・気管支炎）
- 慢性心疾患
- 糖尿病
- 腎臓病
- 血液疾患
- 免疫不全状態
- 小児
- 妊婦　など

特に、ワクチンの接種をおすすめします。

子供に要注意の合併症

インフルエンザ脳症

インフルエンザ脳症は、インフルエンザ発症１～２日後に痙攣や意識障害・異常行動で発症し、急激に進行します。幼児を中心に発症し、10 ～ 30%が死亡、そのほぼ同数の後遺症患者が出ていると推測されています。ワクチン未接種者で多い傾向があり、アセトアミノフェン以外の解熱剤を使用すると発症頻度が高くなることがわかってきました。

× メフェナム酸　× ジクロフェナクナトリウム　× アスピリン

新年のご挨拶

院長　長松 正章

がん治療に特化した病院に向けて

昨年は、東日本大震災が発生し、日本中が悲しみと不安に暮れた年でした。東日本では、新年の挨拶が控えられていると聞いております。今なお先の見えない中、日々の生活を営まれている方々、復興に向けて多くの課題に取り組まれている方々のお気持ちを思えば、新年を寿ぐ言葉を口に出来ないことは察して余り有ります。しかしながら、だからこそ、被災された方々の、そしてその生活を支えるべく奮闘されている方々の努力と忍耐に敬意を表し、本年が少しでも明るい年であることへの願いを込めて、新年のご挨拶をさせていただきたいと思います。皆様、明けましておめでとうございます。

昨年は当院にとって、新しい展開への準備の年でした。当院は、中長期計画として『がん治療に特化した病院』を掲げております。がんはご存知の通り、日本人の死因の第一位です。がん治療に対するより質の高い医療の提供は、泉州地域における当院の責務と考えております。その体制作りのため、昨年は最新型放射線治療器の導入や乳がんセンター・化学療法室の拡張工事などに着手し、本年４月には改装工事も完成する予定です。

医療の進歩の中で、医療知識や技術は高度化し専門分野が細分化されてきました。その専門性が高度医療を支えている反面、医師不足を助長する諸刃の剣でもあります。当院でも医師不足の課題は大きく、地域住民皆様の全てのご要望にお応えする診療体制が整っているとは、残念ながら言えません。今後も地域医療の中核病院として、診療科の充実に努めてまいりますが、地域医療の充実をより広い地域、つまり泉州地域で考えなければならない情勢にあるのが実態です。地域医療再生計画の中でも、泉州地域の各病院がそれぞれの専門性を特化し、不足する部分はお互いに補いながら、泉州地域の高度医療の充実を計る方針が立てられています。将来的には、医療情報の共有化などが進展することでしょう。その中で当院は、従来の乳腺、婦人科や泌尿器科などのがん治療に加え消化器も強化し、がん治療においては手術・放射線治療・化学療法・緩和ケアまで一貫した治療体制を整えてまいります。不十分な診療科もあり、地域の皆様にはご不便をおかけすることも多々ございますが、ご理解とご協力を何卒お願い申し上げます。

看護理念「心かよわす癒しの看護」の実現を

看護局長
榎田 多津代

皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年５月から､当院は『７対１』の看護基準体制を取ることができました。『７対１』とは、入院患者様７人に対して１人の看護師が働いてるということです。『７対１』『10 対１』などがあり、『７対１』が好ましいとされています。看護師不足が深刻な今、当院にこうして看護師が集まってくれたことを、大変うれしく心強く思っております。『７対１』基準を取るにあたり、「患者さんとお話をする時間をもっと取りたい」「もっと充実した看護がしたい」との現場の看護師の声が後を押し、市議会にも承認をいただきました。ご助力いただきました多くの方々に、この場を借りましてあらためて御礼申し上げます。

体制が整った今、私達が看護理念として掲げる『心かよわす癒しの看護』を実現する時です。昨年から、少しずつですが病棟毎に様々な取り組を始めています。例えば、入院時には生活の全てが同じ場所で行われますが、生活スペースとして少しでも快適に過ごしていただけるよう、出来る限り介助をしてトイレまでおつれする。夜間の睡眠障害のある方には日中に十分な運動をしていただく。土日の勤務人数も増やしてお風呂入っていただくなど、出来るだけご家庭の延長のような生活をしていただけるよう配慮したいと考えております。また、医療面だけでなく、病気になられて不安に感じておられるお気持ちを少しでも和らげていただけるような『癒しの看護』が実現できるよう、患者様のお心に寄り添う看護の実現に向けて取り組んで参ります。

貝塚病院は、地域の皆様と共に歩んできた病院です。貝塚病院を愛してくださる多くの地域住民の皆様に支えられ、職員の想いによって形作られた、貝塚病院の素晴らしい伝統であるアットホームな雰囲気を、これからも守り続けていきたいと考えております。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。

■ 第 30 回　市立貝塚病院　市民公開講座

平成 24 年 3 月 21 日（水）

【テーマ】 知っておきたい災害知識！
～災害の急性期をのりこえるために！

【日　時】 平成 24 年 3 月 21 日（水）13：30 ～ 15：00
【講　師】 市立貝塚病院　石谷まゆみ（救急認定看護師）
【場　所】 市立貝塚病院　７階講義室　　【費　用】 無料（定員 80 名　要予約）
【申込・問い合せ】 市立貝塚病院　地域医療連携室　☎ 072-422-5865（内線：236）
※１階総合案内でも受け付けいたしております。

■『乳がん自己検診法』出張講座のご案内

乳がんの早期発見の有効な手段の一つに、自己検診法があります。当院では、看護師が中心に『自己検診法の普及キャラバン隊』を結成し、ご希望の場所に出向いて講座を行う取り組みを行っています。

【条　件】 少人数グループでも可。ご相談ください！
【範　囲】 貝塚市および近隣市町（車で片道 60 分以内の場所）
【日　時】 月曜日　午後１時～午後４時（基本コース：１時間）
【内　容】 ビデオ・講義・実技演習・質疑応答
【費　用】 無料
【申込・問い合せ】 市立貝塚病院　地域医療連携室　☎ 072-422-5865（内線：236）

地域連携ニュース

■ 骨密度測定装置更新のお知らせ

＝＝ 患者様の高齢化に対し、骨粗しょう症の診断にお役立てください ＝＝

当院では、平成 23 年８月より最新鋭の骨密度測定装置を導入いたしました。
骨粗しょう症は、脊椎や大腿骨の骨折をひきおこし、その後の生活に多大な苦痛を強いる重大な疾患です。
新しい骨密度測定装置は、腰椎と大腿骨の２カ所の骨密度を一度に測定でき、検査時間は 10 分以内で痛みもありません。結果も判りやすい様式でお届けします。

【申込・問い合せ】 市立貝塚病院　地域医療連携室　☎ 072-422-5865（内線：236）

■ 外来栄養指導のご案内

地域の皆様の食生活をサポートするため、患者様の個別栄養指導を行っております。
当院に通院中の患者さまは、主治医にご相談ください。

【条　件】 他院の先生からの紹介と事前の予約が必要です
【日　時】 金曜日　①9：30　②10：00　③10：30　　【人　数】 3名
【申込・問い合せ】 市立貝塚病院 地域医療連携室　☎ 072-422-5865（内線：236）